

イエコウモリ

平成21年12月15日に上京保健所から「保健所の自転車置き場にコウモリが死んでいます。参考になりませんか」との連絡が入りました。コウモリは、市民からよく相談のある生物です。上京保健所に「ぜひ送ってください。『衛生動物だより』として各保健所に紹介します」と答えました。送られてきたコウモリは、飛んでいるときのイメージとは全く異なり、黒い紙をくしゃくしゃに丸めたようなかたまりでした。コウモリの分類は、全く知りませんが、市街地で見ることができるコウモリは、ほとんどがアブラコウモリであることから、種類はアブラコウモリと判断しました。まち針で翼を広げ、画像を撮ることにしました。



送られてきたイエコウモリ

種類

一般的な和名は、アブラコウモリですが、人家の周辺のみで活動することからイエコウモリとも呼ばれます。

イエコウモリ以外にも和名にイエが付く種類は、たくさんいます。人家から出る生ゴミの処理が不適切なときには、その生ゴミにイエバエが大量に発生します。クマネズミも自然界では見つかることが少なく、専ら人家を中心に活動していることから、イエネズミとも呼ばれます。

現在、自然破壊などが原因で多くの生物が絶滅の危機にひんしているといわれています。しかし、「イエ」と名前が付く生物達は、人間の生活様式に密着して生きることで、ますます繁栄しています。



イエコウモリの糞

イエコウモリの害

イエコウモリの害は、糞（ふん）や尿のにおいや染みです。巣は、壁の間や天井裏など家屋の透き間です。その巣で糞や尿をします。小さな体ですが、大食漢です。1日に体重の30%にもなる重さの昆虫類を食べるといわれています。しかも、巣によっては、数十匹が同じ巣に生息していることがあります。小さな体なので個々の糞は、わずかな量ですが、イエコウモリが多数生息する巣では、ちりも積もれば山となるという例えのとおり、巣の場所には糞や尿がうず高く積み重なり、においや染みの原因になってしまいます。ただ、保健所には、市民の方がガレージや壁面の巣穴付近に落とされたイエコウモリの糞をネズミの糞と間違われて相談に来られることが多いようです。



アルコールで溶かした糞

イエコウモリの糞の特徴

外観だけを観察すると、イエコウモリの糞は、ネズミの糞と色や形もよく似ています。しかし、両者は、容易に区別できます。

イエコウモリの糞を消毒用アルコールの中に浸し、ピンセットなどでつぶすと糞の内容物のすべてが昆虫の表皮や脚などです。また、時折、イエコウモリの毛が見付けられることもあります。ちなみにクマネズミの糞には、昆虫類の体の一部が見付かることもありますが、その量は、少なく、明らかにイエコウモリの糞と区別ができます。また、必ずといえるほど毛が見付かります。毛の形状もイエコウモリとは、異なります。



糞の中のイエコウモリの毛

超能力

ちなみに有名な話ですが、イエコウモリが暗やみの中で昆虫を取ることができるのは、口から超音波を発し、その反射音を耳で聞いて、昆虫の所在を確認するのだそうです。人間にはできない芸当です。そのためか、耳は大きく発達しています。また、耳の形は、種類を分ける重要な標識ともなっています。



クマネズミの糞の中の毛